

安全に関する改善事例

記入日： 2005 年 10 月 28 日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者：

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m3)
灰塚ダム	広島県	中国地方整備局	G	50	196.6	168
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	管理	熱中症	自然要因	作業環境	有： 無	
改善の概要： 熱中症対策として緊急用品を現場に常備 ダム作業者の熱中症に対する緊急用品としてケーブルクレーン操作室にスポーツドリンク、ミネラルウォーター、塩、おしぼりを常備した。また、ダム天端左右岸にもスポーツドリンクを常備し、熱中症に備えた。					特許の有無	
					有： 無	

メリット：
 熱中症初期治療の水分・塩分補給が現場で可能。
 熱中症予防のため各作業員が作業場へスポーツドリンク等を持参し水分、塩分補給を実施できる。

デメリット：
 午前・午後にスポーツドリンク等の常備品の補給が必要である。

改善前 (略図または写真)
 個人が各種水分を現場に持参し補給を行っていた。水のみ摂取が多く熱中症対策としてはさらに塩分の補給が必要である。現場で気分が悪くなったとき、あわてて、スポーツドリンクや冷水おしぼり等を事務所まで取りに行き対応していたのが従来である。

改善後 (略図または写真)



ケーブルクレーン操作室に緊急時の熱中症対応品を常備



ダム左右岸入り口にスポーツドリンクを常備し熱中症対応